



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社
コード番号 8113 URL <http://www.unicharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高原 豪久
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務本部長 (氏名) 浅田 茂
四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

TEL 03-3451-5111
平成28年9月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	350,479	△2.3	35,773	3.1	26,032	△21.0	17,555	10.5
27年12月期第2四半期	358,809	—	34,700	—	32,952	—	15,891	—

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 △26,684百万円 (—%) 27年12月期第2四半期 28,468百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	29.47	27.92
27年12月期第2四半期	26.44	26.43

(注) 平成26年6月25日開催の第54回定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成26年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、平成27年12月期第2四半期と、比較対象となる平成26年12月期第2四半期の期間が異なるため、平成27年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率につきましては記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
28年12月期第2四半期	652,608	417,220	55.4			
27年12月期	702,601	451,091	55.1			

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 361,852百万円 27年12月期 387,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	7.40	—	7.40	14.80
28年12月期	—	8.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	720,000	△2.5	83,000	3.8	70,000	△1.9	42,000	3.7	70.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期2Q	620,834,319 株	27年12月期	620,834,319 株
28年12月期2Q	24,951,039 株	27年12月期	25,131,639 株
28年12月期2Q	595,784,366 株	27年12月期2Q	600,959,210 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年1月1日～平成28年6月30日）における当社グループをとりまく経営環境は、海外におきましては、アジアの一部の新興国で景気回復に足踏み感が見られるなか、消費者ニーズに合わせたパーソナルケア関連商品の普及活動を積極的に実施いたしました。

一方、国内におきましては、内外経済の先行き不透明感からの円高の影響でインバウンド消費が力強さを欠くなか、引き続き高付加価値パーソナルケア関連商品の需要を喚起するための新価値提案を実施した結果、安定的な成長を実現いたしました。

このような経営環境のなか、当社グループは、“世界中の全ての人々のために、快適と感動と喜びを与えるような、世界初・世界No. 1の商品とサービスを提供しつづけます”の基本方針に基づき、独自の不織布加工・成形技術と消費者ニーズを捉えた商品の開発に努め、市場の活性化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高350,479百万円（前年同四半期比2.3%減）、営業利益35,773百万円（前年同四半期比3.1%増）、経常利益26,032百万円（前年同四半期比21.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益17,555百万円（前年同四半期比10.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

① パーソナルケア

● ベビーケア関連商品

海外では、日本からの輸入品に対する需要が高まっている中国におきまして、引き続きインターネット販売の強化と『ムーニー』ブランドの認知拡大に取り組んだほか、パンツタイプ紙おむつの普及促進に努めてまいりました。また、新興国のなかでも紙おむつの普及率がまだ低いインドにおきましても、パンツタイプ紙おむつで普及促進を図りながら販売エリアとシェアの拡大に努めてまいりました。

国内では、ふんわりぴたりでモレ安心の『ムーニー エアフィット』新生児用のパッケージをより分かりやすく適応体重を表記したパッケージにリニューアルいたしました。また、ディズニーキャラクターのかわいいデザインとたっぷり吸収の『マミーポコパンツ』L・ビッグサイズに「さらさらたっぷり吸収体」を採用し、尿量が増える高月齢期の赤ちゃんがより安心してお使い頂けるよう改良するなど、お誕生からおねしょパンツなどのサブカテゴリー商品まで、ラインアップの拡充とリレーション強化を図ってまいりました。

● フェミニンケア関連商品

海外では、中国におきまして、若年層から品質の高さとデザインのかわいらしさに対して引き続き高いご支持を頂いているほか、インドネシアやタイといった新興国におきましても消費者ニーズに合わせた商品で販売エリアを拡大し、更なるシェアの拡大に努めてまいりました。

国内では、生理中でも普段どおり自由に快適に過ごして頂けるよう『ソフィ』ブランドから世界初^{※1}の吸収体技術を搭載した新感覚のスリムナプキン『ソフィ エアfitスリム』の新発売や『ソフィ 超熟睡極上フィット』を改良^{※2}発売し、女性のからだと心の仕組みを科学的に捉えながら、女性の物理的・精神的な束縛からの開放に努めてまいりました。

※1 吸収体内に含まれる30mm以上の長さの熱可塑性樹脂繊維が吸収体の表裏面をつないでいる構造。主要グローバルブランドにおけるナプキン対象（平成27年9月ユニ・チャーム株式会社調べ）

※2 『ソフィ 超熟睡極上フィット 340』は対象外

● ヘルスケア関連商品

高齢者人口の増加により拡大が続くヘルスケア国内市場におきましては、今までどおり自分らしく生活が送れるようにサポートする商品の普及活動に努めてまいりました。尿ケア専用品では「ズボンにしみない、目立たない」工夫をした男性用尿もれ専用品『ライフリー さわやかパッド』シリーズから「微量用」を新発売し、状態に合わせた吸水量をお選び頂けるようラインアップを充実させ、『チャームナップ』ブランドとともに“軽い尿もれ”は誰にでもあることとして抵抗感を払拭する活動を継続して実施してまいりました。また、介護用品『ライフリー』シリーズとともにテレビコマーシャル、WEBサイト、店頭でのカウンセリングや日常生活動作に合わせた売り場づくりを通じて販売促進にも積極的に取り組み、排泄ケア市場をリードしてまいりました。

●クリーン&フレッシュ関連商品

クリーン&フレッシュ国内市場におきましては、毛羽立たず、繊維残りしない化粧用コットンとして高いご支持を頂いている『シルコット』コットンシリーズから、日本初^{※1}の極細長繊維でマイクロ汚れまですっきりふきとる“ふきとり用コットン”『シルコット ふきとりコットン シルキー仕立て』を新発売し、スキンケアをもっと気楽に、気持ちよく、効果的に使用して頂けるよう多様化する化粧用コットン市場を活性化してまいりました。

- ※1 コットンを覆うシートに二層構造。肌に接する外側層は10 μ m以下の極細長繊維が形成されている。内側が粗いセルロース繊維で形成されている構造。日本における主要ブランドの化粧綿対象（平成27年10月ユニ・チャーム株式会社調べ）

この結果、パーソナルケアの売上高は306,851百万円（前年同四半期比2.9%減）、セグメント利益（営業利益）は34,076百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

②ペットケア

人とペットがともに長生きし豊かな生活を送れる「共生社会」の実現に向けて、ペットと飼い主様双方の「健康長寿社会」の実現とセグメンテーションの進化という2大テーマのもと、消費者ニーズを捉えた商品の開発と市場創造に努め、市場の活性化に取り組んでまいりました。

国内ペットトイレタリーにおきましては、『デオシート』ブランドに「さらふわ吸収シート」を採用^{※1}し、おしこの吸収スピードと逆戻りを大幅に改良した『デオシート しっかり超吸収 無香消臭タイプ』と、やさしい香りですっきり消臭の『デオシート ふんわり香る消臭フレグランス』を発売いたしました。また、『マナーウェア 一男の子用』をよりお洒落なデザインにリニューアルしたほか、『ペット用紙オムツ』と『男の子用おしっこオムツ』に「オシッコお知らせサイン」を搭載^{※2}するなど、高まる清潔、消臭ニーズに応えてまいりました。

国内ペットフードにおきましては、猫の長寿化が進み、飼育頭数も増加トレンドのなか、一袋で2つの味が楽しめる『銀のスプーン 海の贅沢素材 2種のアソート』と、かつお・白身魚をベースにふわふわのうす削りに仕立てた『銀のスプーン ふわふわトッピング』を新発売し、最後まで飽きないおいしさを実現してまいりました。また、厳選の贅沢素材を一箱で4種類楽しめるスーパーグルメフード『銀のスプーン三ツ星グルメ お魚レシピに贅沢素材 4種のアソート』と、はごろもフーズ(株)と共同開発した国産天然まぐろ100%のフレークと贅沢具材を用いた『銀のスプーン 三ツ星グルメ パウチ 国産プレミアム』を新発売するなど、高付加価値市場創造にも努めてまいりました。

北米市場におきましては、犬用シートや軽量タイプ猫砂の販売が引き続き堅調に推移したほか、米国初のコンセプトとなる猫用ウェットタイプおやつ[※]の売上も順調に拡大してまいりました。

- ※1 さらふわ吸収シートは、レギュラー・ワイドへの搭載

- ※2 『ペット用紙オムツ LLサイズ』はパッケージデザインのみの変更で「オシッコお知らせサイン」は搭載しておりません。

この結果、ペットケアの売上高は40,644百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益（営業利益）は1,497百万円（前年同四半期比239.8%増）となりました。

③その他

不織布・吸収体の加工・成形技術を活かした業務用商品分野におきましては、産業用資材を中心に販売を進めてまいりました。

この結果、その他の売上高は2,983百万円（前年同四半期比15.8%増）、セグメント利益（営業利益）は199百万円（前年同四半期比52.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は652,608百万円（前連結会計年度比7.1%減）となりました。主な減少は、受取手形及び売掛金△18,201百万円、建物及び構築物（純額）△8,844百万円、原材料及び貯蔵品△7,498百万円、機械装置及び運搬具（純額）△5,104百万円によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は235,387百万円（前連結会計年度比6.4%減）となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金△7,292百万円、未払金の減少等によるその他流動負債△5,231百万円、繰延税金負債の減少等によるその他固定負債△2,637百万円によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は417,220百万円（前連結会計年度比7.5%減）となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益17,555百万円、主な減少は、為替換算調整勘定△33,988百万円、その他有価証券評価差額金△4,211百万円、剰余金の配当△4,408百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は55.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期通期の連結業績予想につきましては、前回（平成28年2月12日）発表の時点から想定為替レートが円高方向に大きく変動しておりますため、実勢レートを考慮した想定レートに置き換えて在外子会社の財務諸表を換算し直し、次のとおり下方修正いたします。

(連結業績予想)

通期（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

（単位：百万円）

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	前期実績 (C)	増減率 (%) (B-C)/C
売上高	777,000	720,000	△57,000	738,707	△2.5
営業利益	87,000	83,000	△4,000	79,934	3.8
経常利益	80,000	70,000	△10,000	71,380	△1.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	47,000	42,000	△5,000	40,511	3.7

[業績予想に関する留意事項]

上記業績予想数値につきましては、当社が現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により大きく異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	138,503	144,817
受取手形及び売掛金	95,476	77,274
商品及び製品	30,169	29,631
原材料及び貯蔵品	32,499	25,000
仕掛品	1,360	993
その他	33,833	29,308
貸倒引当金	△148	△158
流動資産合計	331,693	306,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	76,428	67,584
機械装置及び運搬具(純額)	130,254	125,149
その他(純額)	41,125	38,489
有形固定資産合計	247,808	231,223
無形固定資産		
のれん	67,359	62,452
その他	22,468	18,875
無形固定資産合計	89,828	81,327
投資その他の資産		
投資有価証券	23,611	23,119
繰延税金資産	2,195	2,366
退職給付に係る資産	2,160	2,844
その他	5,393	4,951
貸倒引当金	△91	△93
投資その他の資産合計	33,270	33,189
固定資産合計	370,907	345,740
資産合計	702,601	652,608

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	93,799	86,507
短期借入金	3,846	5,661
未払法人税等	7,667	6,039
賞与引当金	5,514	5,421
その他	57,801	52,570
流動負債合計	168,630	156,200
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	54,421	53,931
長期借入金	10,757	10,178
退職給付に係る負債	5,295	5,310
その他	12,403	9,765
固定負債合計	82,878	79,186
負債合計	251,509	235,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,992	15,992
資本剰余金	6,858	5,871
利益剰余金	366,777	379,924
自己株式	△41,101	△40,805
株主資本合計	348,527	360,983
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,164	6,952
繰延ヘッジ損益	△6	△80
土地再評価差額金	△157	△157
為替換算調整勘定	33,804	△183
退職給付に係る調整累計額	△6,136	△5,661
その他の包括利益累計額合計	38,667	869
新株予約権	276	334
非支配株主持分	63,619	55,034
純資産合計	451,091	417,220
負債純資産合計	702,601	652,608

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	358,809	350,479
売上原価	199,904	187,761
売上総利益	158,905	162,718
販売費及び一般管理費	※ 124,204	※ 126,944
営業利益	34,700	35,773
営業外収益		
受取利息	926	1,456
受取配当金	178	147
助成金収入	713	503
未払配当金除斥益	1,038	4
その他	657	303
営業外収益合計	3,514	2,416
営業外費用		
支払利息	308	327
売上割引	1,919	868
為替差損	2,914	9,169
その他	120	1,792
営業外費用合計	5,262	12,158
経常利益	32,952	26,032
特別利益		
固定資産売却益	32	26
投資有価証券売却益	—	3,659
特別利益合計	32	3,686
特別損失		
固定資産処分損	196	302
特別損失合計	196	302
税金等調整前四半期純利益	32,788	29,415
法人税、住民税及び事業税	7,153	7,715
法人税等調整額	4,701	1,774
法人税等合計	11,854	9,490
四半期純利益	20,933	19,925
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,042	2,370
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,891	17,555

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	20,933	19,925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,196	△4,211
繰延ヘッジ損益	△40	△144
為替換算調整勘定	3,226	△42,750
退職給付に係る調整額	153	496
その他の包括利益合計	7,535	△46,610
四半期包括利益	28,468	△26,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,803	△20,243
非支配株主に係る四半期包括利益	5,665	△6,441

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)
販売運賃諸掛	18,444百万円	18,317百万円
販売促進費	58,941百万円	61,795百万円
広告宣伝費	10,307百万円	10,240百万円
従業員給与・賞与	9,701百万円	9,793百万円
賞与引当金繰入額	1,915百万円	2,031百万円
退職給付費用	1,010百万円	1,223百万円
減価償却費	1,854百万円	1,623百万円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				セグメント間取引消去又は全社	四半期連結損益計算書計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	315,956	40,277	2,576	358,809	—	358,809
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	10	10	△10	—
計	315,956	40,277	2,586	358,820	△10	358,809
セグメント利益(営業利益)	34,129	440	130	34,700	—	34,700

当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				セグメント間取引消去又は全社	四半期連結損益計算書計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	306,851	40,644	2,983	350,479	—	350,479
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	18	18	△18	—
計	306,851	40,644	3,002	350,498	△18	350,479
セグメント利益(営業利益)	34,076	1,497	199	35,773	—	35,773